グリーン共同発行市場公募地方債購入にかかる投資表明

20240301

　ＪＡ東西しらかわは、資金の運用を通じた社会貢献活動への取組として、地方公共団体が発行する「グリーンボンド」への投資を実施いたします。

 　当ＪＡは　『輝く未来へのみちしるべ』～輝かしい未来へ向かって、未知の世界を切り開き、農と暮らしの創造を築き上げ、そのめざすべき未来への方向性を生み出していくための道標をＪＡが担っていく事を基本理念としていることから、社会の一員として、人々が心豊かに暮らせる社会の実現を目指す発行体の皆様の活動に積極的に貢献したいと考えています。

 　現在、地球的規模での生活の変化や気候変動といった環境変化が進み、農業が果たす役割はますます大きく、ＪＡとして社会貢献活動に関わっていくことに大きな意義を感じております。

発行体である地方公共団体は、気候変動に対する適用・省エネルギー・自然資源や土地利用の持続可能な管理・クリーンな運輸・グリーンビルディング・汚染の防止と管理・生物多様性・再生可能エネルギー・持続可能な水資源管理に関する事業へ取り組んでおられ、これらの取り組みは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）にも合致するものと考えており、今回の投資が様々な社会的課題の解決に対する同社の公的使命のサポートに繋がることを期待しております。

 　当ＪＡは、引き続き安全な資産運用を行い、社会的課題の解決に向けた貢献と社会的使命・役割を果たして参ります。

今後も適切なリスク管理のもとで、同様の投資を継続的に実施し、心豊かで住みよい地域づくりに積極的に貢献してまいります。

グリーン共同債について

地方公共団体がグリーンボンドを発行する意義

地方公共団体は「２０５０年カーボンニュートラル」の実現及び２０３０年度の温室効果ガス４６％削減（２０１３年度比）を目指すため、持続可能な社会の構築基礎である地域の環境保全に関して主要な推進者としての役割を担うとともに、地域の取り組みの調整役を積極的に担うことが期待されています。

そのような中、地方公共団体がグリーンボンドの発行により資金の調達を行う事で、地域の自然的・経済的・社会的状況に応じた気候変動適応に関する施策の推進を図ることができます

※「グリーンボンド」とは

　社会貢献債とも呼ばれ、社会問題の解決にあてる目的で資金を調達する債券をいいます。通常、発行機関が必要とする国や公共団体、金融機関、企業などに投融資して社会問題の解決に役立てます。